

大学の世界展開力強化事業 取組概要 明治大学

【構想の名称】(選定年度24年度・申請区分(I))

日本ASEANリテラシーを重視した実務型リーダー育成プログラム

【プログラムの目的・養成する人材像】

たくましい「現場力」および日本と東南アジアに関するリテラシーを持って、将来、ビジネスパーソン、ジャーナリスト、建築家、NGO、公務員など多くの実務分野で国・地域を跨いだ懸け橋となりうる実務型リーダーを、日本とASEAN諸国の双方に育成。

【構想の概要】

国際共同コンソーシアム内での共同教育プログラム、明治大学アセアンセンターでの各種プログラム等、長短期様々な教育プログラムを通じて、5年間で日本人送り出し500名及びASEAN側学生受け入れ500名、合計1,000名の交流を目指す。

■ 質の保証を伴った大学間交流の枠組形成に向けた取組

○ 国際共同教育コンソーシアムの形成

AUNを中心としたASEAN協力大学全16大学と正式な協定書を締結完了。バンコクの明治大学アセアンセンターにて本年8月、国際合同シンポジウムを開催予定。質保証、今後のコンソーシアムのあり方などを議論。

○ 質保証のためのコンソーシアム運営体制

- (1) 構想実施担当者による運営委員会・総括会議の実施。
- (2) 明治大学国際教育研究所で高等教育の質保証を研究。

○ 教育の質向上

- (1) 単位認定/学位授与に至るプロセスの明確化、(2) 国際標準での教員採用、(3) FDIによる教員の資質向上。

■ 交流プログラムの内容、今後の開始に向けた準備状況

〈チュラロンコン大学との建築共同ワークショップ〉



○ 長短期様々な交流プログラムの実施

経営学研究科のダブルマスタープログラム、理工学研究科建築学専攻の国際ワークショップ、政治経済学部・情報コミュニケーション学部のタイ短期プログラム、農学部の国際農業理解プログラム、アテネオ・デ・マニラ大学学生への短期日本語プログラム、等。

○ 日本語・日本文化交流(SEND)の実施

学部で実施の短期プログラムの一環として、SENDプログラムを今夏よりタイにて実施予定。TA(大学院生)の事前研修の実施。

○ 現地企業との連携

- タイに進出している日系企業(JAL、NTTなど)での学生インターンシップの実施。
- 日系企業とのグローバル人材育成シンポジウムの開催。

○ ASEAN理解科目群の設置

「東南アジア理解講座」(国際機関・日本ASEANセンターとの連携講座)などを開設。全学プログラムとして単位化。

■ 交流プログラムにおける学生のモビリティ

○ 日本人学生の派遣

既存短期プログラムによるASEAN連携大学への送出し強化、連携大学での本学学生用短期プログラム新規開設(フィリピン、ベトナム)、連携大学への交換留学送出しの強化。

○ 外国人留学生の受け入れ

既存の短期プログラムによる受け入れ強化、アセアンセンターでの授業開講、同センターでの学生合同研究セミナー開催、本学夏期・冬期短期プログラムへの受け入れ枠拡大等により、外国人留学生の受け入れを拡大。

	H24	H25	H26	H27	H28
学生の派遣	17人	75人	100人	125人	150人
学生の受入	10人	75人	100人	125人	150人

注) H24は実績、H25以降は計画

■ 日本人学生の派遣・留学生の受入を促進するための環境整備

○ 明治大学アセアンセンターの開設

2013年5月1日、バンコク中心部に明治大学アセアンセンターを開設。連携大学との短期プログラムでの利用のほか、日本語教育や遠隔授業を設置・拡大予定。

○ 全学的推進体制の構築

構想推進のための専従者を配置し、在籍管理や情報提供の強化、日本人学生のサポート強化、受け入れ留学生の履修サポート強化などを実施。

■ 教育内容の可視化・成果の普及

○ 国内外への情報提供方法・体制

本構想の取り組みや成果は、開設した専用ホームページ、広報誌、国際シンポジウムなどを通して、多言語により国内外の大学や産業界に積極的に情報発信。

〈明治大学アセアンセンター〉

